

大分県医療・福祉労働組合連合会（大分県医労連）
〒874-0938 大分県別府市末広町 6-27 ミカドビル2B

平成 22 年 10 月 26 日発行

Tel : 0977-23-7762 (直通) 0977-75-7556 Fax : 0977-75-7560

E-mail : irouren3984@bloom.ocn.ne.jp ホームページ : <http://oita-irouren.net/>

「福祉」にも力を・・・！キャラバン行動に23名が参加



第 52 回定期大会が 9 月 12 日に別府つるみ荘で行われ、役員、代議員、傍聴をあわせて 48 人が参加しました。今年の大会では

規約改正が行われ、名称を「大分県医療・福祉労働組合連合会」と変更となりました。医療も福祉も現場で沢山の問題がある中、“働きやすい職場を・・・”を目指しています。福祉の取り組みが弱い中、今後は医療・福祉の両方に力を入れ仲間を増やしていきたいと思っています。役員も池田委員長初め、副委員長を 5 名に増やし、佐藤書記長と書記次長 2 名、執行委員 12 名、特別執行委員 1 名、会計監査 2 名が選出されました。また最近では、労働組合のないところからの労働相談が増え、益々我々の力を発揮して仲間をサポートできる組織にし、今後の大分県医労連発展のためにも団結しなければなりません。そのためにも朝ピラをしたり、職場での悩みをいえる場を作ったりして健康で定年まで働き続けられる職場にしたいと思います。

By RT

<http://oita-irouren.net/>



いのちまもる全国縦断キャラバンが九州でも始まりました。大分県では、9月20日(月)大分市内で『大幅増員と夜勤改善で安全・安心の医療・介護の実現を』国会要請請願署名が行われました。看護師が交代で街頭宣伝をし、街行く人々に安心して医療・介護受けられる体制と医師・看護師・介護職員の不足している実態とこれらの署名は、国会に持って行くため重要であることを一人一人が説明し署名を頂きました。集まった署名は1時間で149筆です。その後も各単組で署名を行い、宇佐労組から453筆、村上労組120筆、健生労組100筆、全日赤大分労組54筆、山本労組67筆が集まりました。個人加盟の方々からも署名を取って頂き、目に見えない活動が行なわれ嬉しく思います。

目標1万筆に向け引き続き頑張ります！

労働組合とはなんぞや？

⑧

最近、労働局・労働監督署の労働相談窓口では、沢山の人の目にします。私たちの単組でも先日労働監督署に行き、時間外等について相談してきました。やはり監督署では事実確認が必要と云われ、今後は退勤調査などをして、データを集め再度相談に行く予定となっています。昨年、田中弁護士の学習会で、パワハラ・セクハラについておっしゃっていた「記録を取る」と云うのが最も重要になると実感しました。

先日、あるTV番組で「親から子への継承される？最終学歴と経済力・・・」で討論があり、東京大学大学院本田教授が『適応』『抵抗』の能力が必要であると話されました。学歴についてはこの場では云いませんが、最も重要なことは「労働者として、違法か違法でないかは、労働基準法についての知識を知っているか知らないかで大きな違いがあります。労働者には色々な権利があります。就業規則や自分の契約書がどのようになっているか知るのが大切です。」とはっきりとおっしゃっていました。労働者として当たり前の権利があり、法律で定められていることを正しく行っていないことは、本来考えられないことです。今後は労働者として、私たちの職場では・・・私たちの病院・施設ではその法律をきちんと守られているかを知ることが重要です。今後は、労働基準法についてホームページのブログの中で伝えられるよう努力したいと思います。「一人ひとりが・・・」